

市立吹田市民病院 4階西病棟に入院され、身体行動制限(抑制)に関する説明書に承諾頂き、
センサーマットを使用した方へ

研究へのご協力をお願い

【本臨床研究の背景と目的について】

入院中の患者様は環境の変化により多様なストレスを抱えながら入院生活を送られていると思います。さらに入院による環境変化や疾患のため日常生活動作の変化が生じます。そのため、転倒リスクが高くなると判断した場合、転倒を予防するためにセンサーマットを使用しています。

しかし、センサーマット使用により、看護師が頻回に訪室するため、時に患者様は拘束されていると感じているという報告もあります。そのため、適切にセンサーマットを使用出来ているか検討し、適応基準を明らかにする必要がありますと考えました。

今回の研究結果を今後、入院される患者様への看護に生かしていきたいと考えております。

以下の研究にご理解を賜りますようお願い致します。

【研究の方法について】

本研究は、2021年10月～2022年3月末までに当院の4階西病棟に入院され、「身体行動制限(抑制)」に関する説明書に承諾を頂き、センサーマットを使用した患者様を対象とします。同意は当病院のホームページに張り出すオプトアウトの形式を取り、拒否がないことを持って同意とみなします。厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のもとに実施されます。本研究はデータの結果から匿名化された情報のみを分析して報告する物です。データ入力の際は個人が特定されないようコード化し、匿名性の確保に十分注意します。データはこの調査目的以外には使用しません。調査終了後、得られたデータの電子媒体は鍵付きロッカーで責任を持って保管します。また紙媒体はシュレッダー処理をします。従って、対象者の方の個人情報が増えることはありません。

【対象となる方】

2021年10月～2022年3月に市立吹田市民病院4階西病棟に入院され、身体行動制限(抑制)に関する説明書に承諾を頂き、センサーマットを使用した方。

【使用するカルテ情報】

電子カルテの転倒転落防止アセスメントシート

(年齢、転倒既往、感覚、運動機能障害、活動領域、認識力、薬剤、排泄、症状、患者特徴)

センサーマットの使用の有無

【研究協力の辞退について】

この研究に協力を希望されない方は、下記担当者までお知らせ下さい。研究に協力されない場合であっても、患者様が不利益を被ることはありません。

【プライバシーの保護について】

この研究で得られた成果は、今後、学会発表や学術雑誌等で公に発表されることはありますが、協力していただいた個人を特定できる情報を公開することはありません。プライバシー保護には最大限の注意を払います。

【問い合わせ先】

2022年10月20日

市立吹田市民病院4階西病棟 貝出純子

TEL 06(6387)3311(内線 2414)